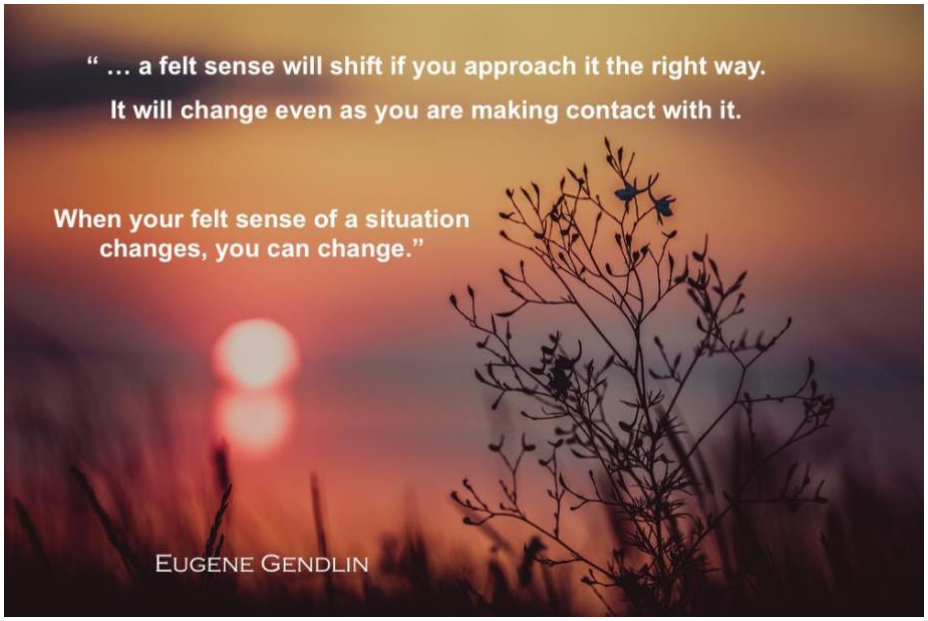
November 2022

INFOCUS
NEWSLETTER



「・・・フェルトセンスは適切な方法でアプローチすればシフトします。
フェルトセンスに触れるだけでも、フェルトセンスは変化します。
ある状況についてのフェルトセンスが変化するとき、あなたは変わることができます。」
ユージーン・ジェンドリン

（訳：酒井久実代）

目　次

- フォーカシングを超えて
- 2023 年フェルトセンス学会: ″スピリチュアリティとあいまいなエッジ″
- 子どもたちとフォーカシングの会議　不思議の瞬間
- LC メンバー、ギルヘルメ・トステスとのインタビュー　ホアオ・フォンセカ
- ネレ・モフェットによる理事会の最新情報
- ベス・マーラーによる 2022 年のウィークロング：参加者の体験的な観点から
- 国際フォーカシング研究所の雑誌：Folio
- 国際フォーカシング研究所書店での新着情報
- マイルストーン

フォーカシングを超えて

あなたのサポートでさらに深く広く、成長する

先日の TAE アカデミーの参加者から、このような感謝の言葉をいただきました。

私はずいぶん前に哲学の勉強をやめたのですが、その後、ジェンドリンに出会いました。ジェンドリンは、私たちが変わると共に変わる変容の道の意味を生きた言語を用いて明らかにする方法を教えてくれました。不思議なことです。この TAE アカデミーの 4 日間はとても豊かな時間で、私はここで起こった全てのことに感謝しています。さらに驚くべきことに、私の人生全体が、言葉にまだなっていないものまで含めてより首尾一貫するようになりました。それは、私のすべてのワークに深みをもたらしてくれています。この素晴らしい機会を与えてくれた TIFI とそのスタッフ、及びフォーカシング・コミュニティ全体にとても深く感謝しています。(ビル・ゲイナー)

私が国際フォーカシング研究所の事務局長を引き受けたとき、ジーン・ジェンドリンはフォーカシング・コミュニティの人々が哲学の重要性を理解していないこと、そしてその重要性をまだ広められていないことを悲しんでいました。

最近の TIFI が提供する豊かなプログラムの内容を見たら、彼はきっととても喜んでいることでしょう。TIFI では数年前から毎年哲学のプログラムを行っており、ジェンドリンの偉業に興奮する世界各国の哲学者の数を年々増やしています。ジェンドリン研究センターには近年 2 人の新しいメンバーが加わり、一人はアイスランド大学の哲学教授であるシグリドゥル・トルゲルスドッティル教授です。(もう一人は、ベルギーのルーヴェン大学心理学教授のジーブレヒト・ヴァン・ホーレン教授です。)

ジェンドリン研究センターは、これまでに心理学分野で 2 件の助成を行ってきましたが、今回初めて、ジーンの哲学に関する学術論文を対象に賞を授与することになりました。これらの賞や助成金は、皆様からのご寄付によってのみ実現できるものです。

この一年の締めくくりとして、TIFI は第 1 回 Thinging at the Edge (TAE) アカデミーを開催しました。

上に引用したビルのように、とても多くの人が、フォーカシングを発見することによって与えられた深遠な変化をも超えて、自分の人生が豊かになっていることを発見しています。

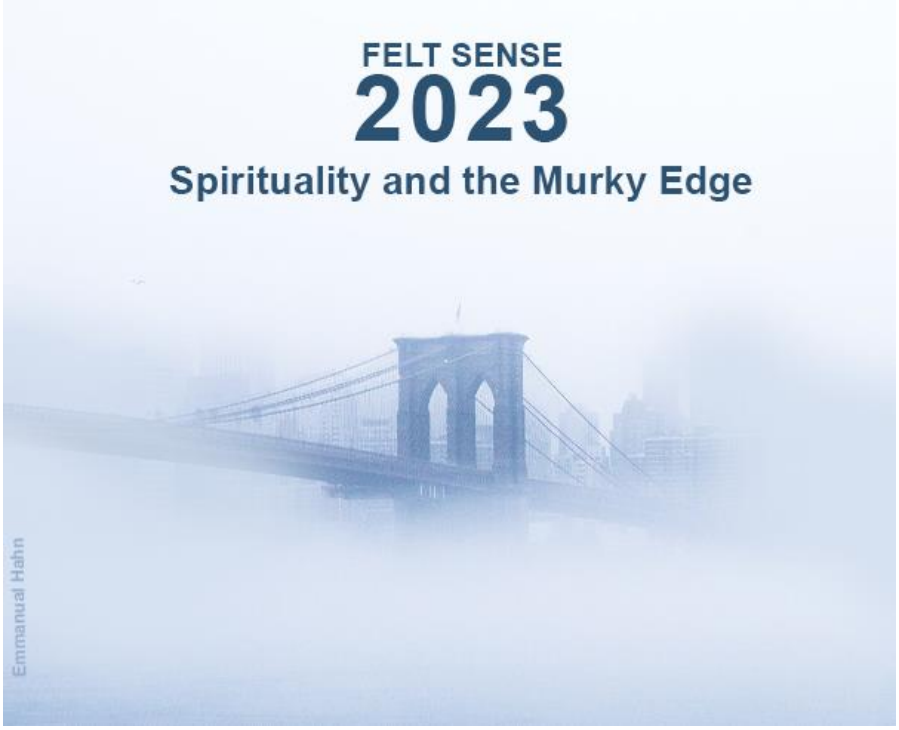
私たちの仕事をさらに深めていくために、どうかご協力をお願いします。皆様のご寄付により、TAE アカデミーのようなプログラムを実現することができます。プログラムやメンバーシップからの収入だけでは、TIFI を運営するためのすべての費用をまかなうことはできません。できる限り寛大なご寄付をお願いします。

（訳：桜井多恵子）

寄付はこちらに

Donate Here

オンラインで参加する



2023 年フェルトセンス学会

"スピリチュアリティとあいまいなエッジ"

「私たちは待つことを学ばなければならない、そこで、それと一緒に。それが一時的にあいまいで閉じている間、繰り返しそこに戻って待つ….。しかしやがてそこから大きな一歩が生まれる.....それは誰にでも手の届くところにあるもので、決して神秘的なものではない。」~ ジーン・ジェンドリン

2023 年 1 月 19 日～22 日開催

フェルトセンス学会は、ジーン・ジェンドリンの遺志を継ぎ、フェルトセンスの多面性を探求するために 2018 年に始まりました。この学会は、フェルトセンスが新しい領域へと私たちを前進させてくれることを思い出させる架け橋です。今いる場所から、次に進むべき場所まで、次に渡るべき橋を一緒に探しましょう。

今年はあなたもスピリチュアリティとあいまいなエッジの探求に参加しませんか？

企画書の提出期限は 11 月 30 日です。

（訳：桜井多恵子）

全文と申込みはここをクリック

Click Here for Full Details and Registration

子どもたちとフォーカシングの会議（オンライン開催）

不思議の瞬間

2023 年 2 月 10-12 日

フォーカシングは、ユニークなシンプルさで、自然に子どもたちに伝わります！フォーカシングが不思議な存在を呼び起こす貴重な瞬間に、あなたをご招待します。

この会議は、フォーカシングの知恵を学び、深めることに関心のあるすべての人のために企画されました。あなたがこどもとフォーカシングの交わりを経験した人であろうと、単に他の人が何をしているのか知りたいだけであろうと。また、幼児からティーンエイジャーまで、あらゆる年齢の子どもや若者と関わる専門家のためのものでもあります。そしてもちろん、両親、祖父母、介護者、そして子供とフォーカシングの関わりについてもっと知りたいと思う人たちにも開かれています。最も重要なことは、この会議があなたのためにあるということです。

（訳：桜井多恵子）

より詳細な情報と申込みは以下をクリック

Click here for more information and to register

国際リーダーシップ評議会メンバー、ギルヘルメ･トステスとのインタビュー

ホアオ･フォンセカ

インタビュー全体（英語版）を読むにはここをクリック

Click Here for English

ギルヘルメ・トステスは、国際フォーカシング研究会(TIFI)の国際リーダーシップ評議会(ILC)の最も新しいメンバーです。ブラジルで生まれで、ポーランドとドイツとイタリアの祖先を持つ彼は、心理師で心理療法家で大学教授ですが、自由な時間には、丘を散策し、自然の静かさを観想することを好んでいます。

ギルヘルメは、臨床心理学の博士号を持つフォーカシング・コーディネーターであり、現在、ミナス・ゲライスのベロ・ホリゾンテ市に住んでおり、ミナス・ゲライスの医療科学学部で、現象学、精神病理学、精神衛生と実存的人間性心理療法、に関するラト・センソ卒後研修コースの教育と調整に携わっています。

TIFI はギルヘルメの人となりについてもう少し知りたいと考え、同じくポルトガル語を話すコーディネーターである、ポルトガルのホアオ･ダ・フォンセカを聞き手とするオンライン・インタビューに招待しました。以下に書き起こしたインタビューは 10 月 30 日に行われましたが、とても気持ちのいい会話となり、時間と空間の感覚を失うほどでした。

ホアオ･ダ・フォンセカ：ギルヘルメさん、あなたの人生について、フォーカシングとの出会いの経緯について少しお話しください。

ギルヘルメ・トステス：そうですね、ホアオさん。私はこの世界でずっと、居場所を持たない子どものように感じていました。家族の中でも育った場所でも、私は常に、よい人々に取り囲まれ、大事にされていましたが、私には、世界は、物質的なレベルでのみ機能しており、物質的な関心しか持っていないように思えていました。霊

性というテーマは、小さい頃から私を動機づけていました。

職業上では、私は 2007 年に心理学の学位を取って卒業しましたが、2005/2006 年の間、ベロ・ホリゾンテ市のアンドレ・ルイズ病院でインターシップを行うことに決めました。この病院は、病床数 160 の博愛的心霊的精神病院で、様々な精神衛生的不調や危機に対して、通例の精神科治療に加えて、霊的な治療も提供しています。

私の卒業時、病院は私のために職を作ってくれました。2007 年に臨床心理士として仕事を始め、その後、心理学部門の管理者となりました。私は 2018 年の終わりまで 13 年間務め続けました。そこにいた間、私を含む心理チームは、看護医療チームとともに、急性期の心理的危機の治療に当たってきました。心理チームが仕事を始めて以来、急性期の患者の物理的拘束や投薬は明らかに減少しました。それがあまりに明らかだったので、この病院ではその手順書が開発されました。それは、このような危機にまず介入するのは心理チームであり、その後に必要であれば、看護医療チームの介入が続く、という手順です。そこでは、体験的フォーカシングを伴うパーソン・センタード・アプローチの重要性が強調されており、この種の介入があまりに有効であったので、その結果私は、精神病的危機における心理学的介入という話題の論文を出版することになりました。

ホアオ・フォンセカ

ホアオは、臨床心理士、フォーカシング・コーディネーター、心理療法家であり、トランスパーソナル、実存的、フォーカシング指向、サイケデリック・アシステド療法の資格を有しています。彼は、個人臨床及び、ポルトガルのリミナル・マインズ・クリニックで仕事をしています。

記事の全文はこちらでご覧ください

Read Full Article Here

（訳：日笠摩子）

理事会より:ILC の皆さん、おめでとうございます

TIFI 理事会は、国際リーダーシップ評議会のクラウド・ミシアンとマッシモ・ザルゲッタを招いて、公式に理事会が承認するために「コーディネーター指名のための手続き」の説明をしてもらいました。ILC は過去 10 年間にわたって、この手続きを作成し検討し、フィードバックを受けた上で洗練させてきました。このプロセスは、意図的にゆっくりと慎重に進められました。

ILC は準備が整ったと感じ、この手続きを公式に採用するために理事会に提出し、この手続きは全一致で喜んで承認されました。理事会は、このプロセスを成功裏に完遂するまで ILC が丁寧に辛抱強く揺るぎなく導いてきたことに、感謝を表明しました。理事会はまた、ILC のリーダーシップに加えて、この長い投票過程の検討に参加し、フィードバックをしてきた、すべてのコーディネーターの皆さんにも感謝を表明しました。ILC は今後すぐに、この文書のお知らせを送出する予定です。E メールで届くので、コーディネーターの皆さんはこのお知らせに注意していてください。

他の案件として理事会は、理事会の裁量で理事会補佐メンバーを任命することができるという新しい方針を承認しました。この特別な立場を作ることで、理事会は柔軟に、投票権を持たない理事会メンバーを一年任期で任命することができます。特別に短期的に理事会に必要な仕事を担ってもらえますし、特殊領域の専門家を導入することもできます。また、理事会の仕事を身近なものにして多様性を増すこともできますし、TIFI のメンバーたちに、非営利団体の理事会の体験してもらう機会にもなります。

最後に、理事会は、アメリカ合衆国で非営利団体地位を維持するために求められる、第 3 四半期収支報告と年間収支報告の検討を行いました。両方の報告および年間監査報告から、TIFI の収支は適切に管理されており、アメリカ合衆国の法律を守っていることが確認されました。

（訳：日笠摩子）

2022 年のウィークロング：
一参加者の体験的な観点から
ベス・マーラー

ダン・シャクターに特に感謝します。彼は、3 年間にわたってウィークロングの中核チームの一員であり、それ以前には協力コーディネーターとしても参加していました。彼のおかげで私たちは、コロナ禍状況に適応するという予期せぬ混乱を乗り越えることができました。ありがとう、ダン。ダンは、ダブリンでの彼のホームグループと一緒にこの写真に写っています。

超人的な類の人間的実験として、今年の上級および認定ウィークロングは 2022 年 10 月 16 日から 21 日に大きく声をあげました。そして、それは本当に驚異的な世界的フォーカシング行事でした。今年は、まったく初めてのハイブリッド・ウィークロングだったという点で画期的でした。ベアトリス・ブレイクとトム・ラーキンとダン・モルテン・シャクターというスーパースター協働チームが、スケジュールを調整し、アイルランドとアメリカ合衆国とズーム参加での同時進行を成功裏に成し遂げました。事務局長キャサリン・トルペイや事務助手エリザベス・カンターとリタ・キルシュ、多くのコーディネーターの協力、ズーム技術ホストたちの支援と協力もあり、26 ヶ国（アメリカ大陸、ヨーロッパ、アジア、アフリカ）から、参加者 60 名、ボランティア・スタッフ 8 名が、一緒に出席しました。調整チームは巧みに、地球のいたるところのフォーカサーたちがつながりコミュニティを感じられるような没入体験を作り出しました。私たちは真に、多様性と平等と包含の実践を生きたのです。

参加者たちは導かれつつ、ずっとフェルトセンスを感じ続け、フォーカシング的態度を実践し、新しい学びを探索し、多くのワークショップを通して教育を受けるという一連の流れを進んでいきました。上級フォーカサーたちも、2022 年の新たな卒業クラスの認定フォーカシング・プロフェッショナルやトレーナーやセラピストたちも、フォーカシングの恵みを受け取るとともに、クラスメイトやワークショップ参加者たちに調子を合わせながらしっかりそこに居て傾聴するという恵みを提供する時間を持ちました。

もし、私がこのウィークロングのエッセンスをお伝えするとしたら、「素晴らしくも、食べられる：回復的休止でほどけ戻す」という文になります。もちろん、皆さんは、この文をあまり理解できないでしょう。もしかしたら、この文を読んで、辞書を引いてはっきりさせようとしたり翻訳しようとするかもしれません。辞書で「素晴らしい」「食べられる」「回復的」「休止」という語やそのいろいろな意味を見ることはできるでしょう。しかし、フォーカサーならご存じでしょうが、プロセスモデルを第 8 章にまで生きていれば、新しい語を形成することができるのです。それが「ほどけ戻す」です。フォーカサーとして私たちは、新しい語が生まれるままにしますし、それを生きていくプロセスに不可欠な部分として大切にします。「ほどけ戻す runwind」はどんな辞書にも見つけられません。この語は、私のフォーカシングの歴史とフェルトセンス体験における独自の定義づけの瞬間から生まれたものだからです。この語によって私は、この語でしか表現できないものをはっきりと定義し理解することができるようになったのです。この新しい語は、100 分の 1 秒の（よい種類の）爆発的エネルギー、つまり、過去の体験記憶に巻き戻しながらも、現在の瞬間にしっかりおり、生の諸体験の中で前向きに進んでいる状態を捉えています。この語は、習慣的行動あるいは型にはまって考える行動とは真逆の方向に進むことで、物理的感情的身体を健康に生きることに向かって使うことのエッセンスを捉えています。そうだからこそ、私たちはフェルトセンスに「確かめ」ることで、フェルトセンスが私たちを自己実現と実現化の方向に動かしてくれるに任せることができるのです。

ここで正直に告白します。私はこの 2022 年の実験に参加することには懐疑的でした。そして、私はズーム疲れにくたびれ果てており、今年の協力コーディネーター・チームを支えることはほとんど何もできませんでした。幸いにも私は、コロナ禍以前のウィークロングで 5 回も美味しい体験をしてきました。それらの経験から私は、コーディネーターたちのグループやフォーカサーたちのコミュニティは、私がこの実験に関わりながらも、この実験やこの実験が私が人生を生きることとの関連について疑問を持つことを許してくれることを知っていました。私にはっきりわかっていたのは、私のズーム疲れた体と心と魂には、対面のウィークロングが必要であるということでした。

記事全文はここから

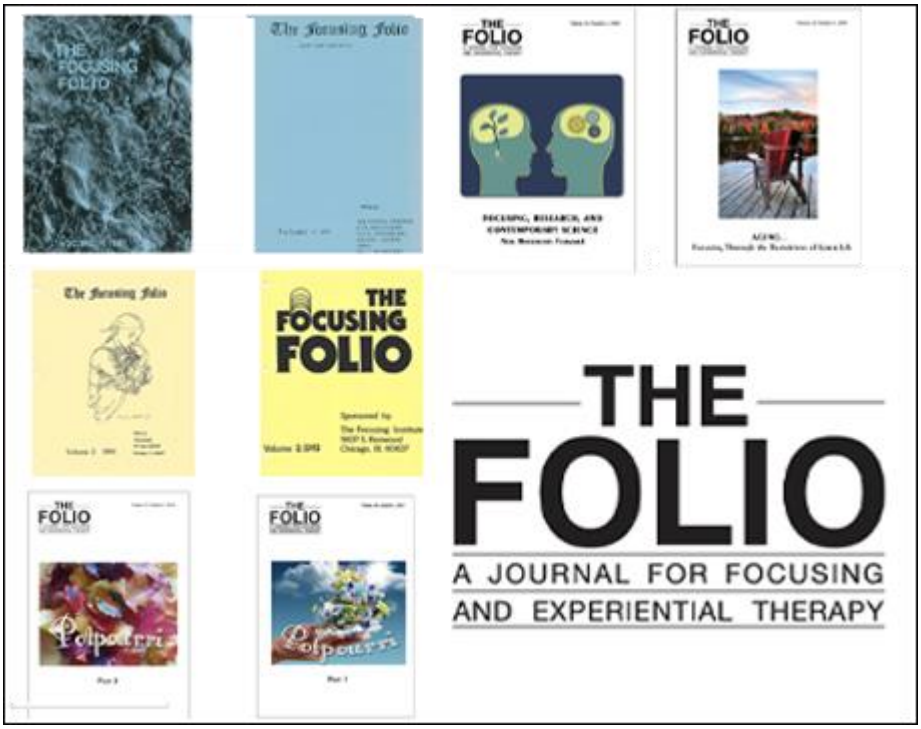
Read Full Article Here

ベスには、ウィークロングでのご自分の体験をこれほど美しく捉えてくれたことを深く感謝します。

ベスはフォーカシング指向セラピストであり、認定コーディネーターです。彼女は、個人臨床に加えて、研究所のためにフォーカシング・ハイライトのクラスの指導に当たっており、ニュージャージーやニューヨークで宿泊研修も行っています。

（訳：日笠摩子）

国際フォーカシング研究所の雑誌: The Folio



Folio は国際フォーカシング研究所の雑誌です。各号はフォーカシングの理論や実践に関連した特定の領域に焦点を当てています。ジャーナルのトピックは変革的なフォーカシング体験や TAE から、子どもたちとのフォーカシングやトラウマ・フォーカシングまでの範囲にわたっています。Folio は TIFI の会員であれば無料です。非会員には orders@focusing.org に連絡して、Folio のコピーを購入していただけるようお招きしています。紙媒体で購入できる Folio もあります。orders@focusing.org にご連絡ください。

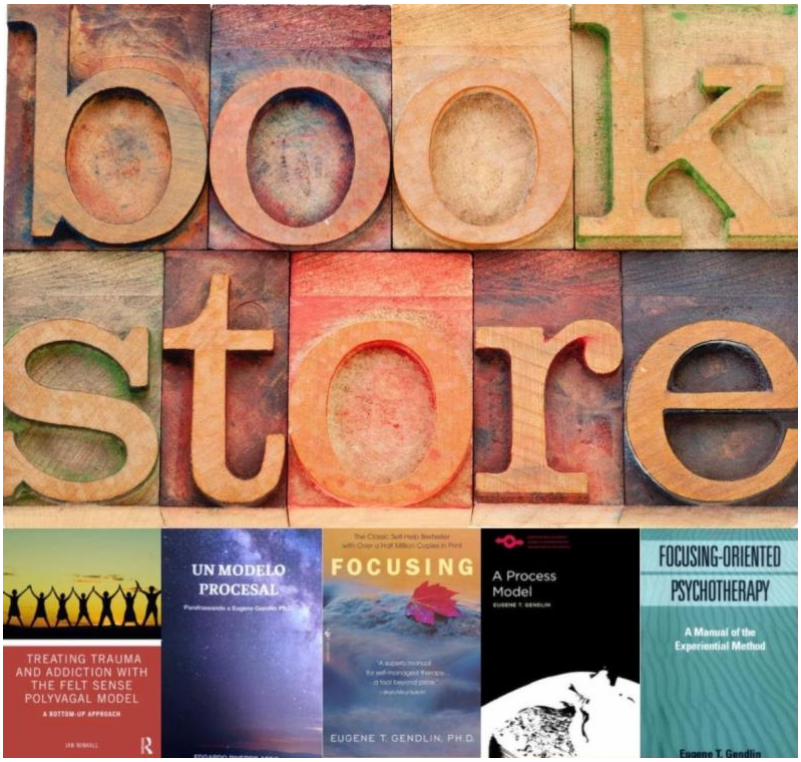
非会員はここから、Folio をご覧いただき、お選びいただけます。

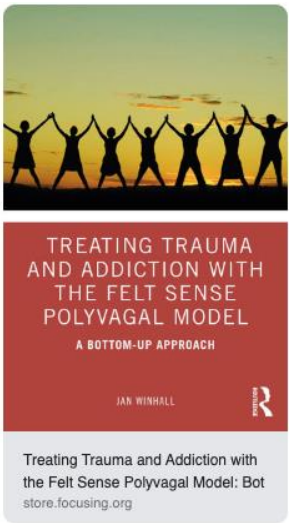
（訳：酒井久実代）

会員はここをクリック

Members Click Here

国際フォーカシング研究所書店の新着情報





今月の特集はこちら：

フェルトセンス・ポリヴォーガル・メソッドで

トラウマと依存症を治療する

また、書店では、ギフトに最適な書籍も取り揃えています。
オンライン書店の全商品を見るには、ここをクリック

（訳：酒井久実代）

今月の特集の詳細はこちらをクリックしてください

Click here for full details on our featured book of the month

マイルストーン

以下の新コーディネーター、認定フォーカシング・プロフェッショナル（トレーナーとフォーカシング指向セラピストを含む）と熟練パートナーシップの方々にお祝いを申し上げます。さらなるご活躍を期待しています。

コーディネーター

ナターリア（ナティ）・カルヴィーニョ（アルゼンチン／スペイン語）

指導コーディネーター：トム・ラーキンとスザンヌ・ノエル、モニカ・ペレス・ターラスペ、ジャン・ウィンホールのサポート

ナターリアは、認定コーディネーターで、フォーカシング指向セラピスト、そして個人やグループセラピーの個人開業をしているトレーナーです。彼女はまたフォーカシング認定プログラムや他のコースを教えています。彼女はフォーカシングが彼女の人生の多くの側面を変え、豊かにしたと言っています。彼女はフォーカシングの内なる自然の知恵を、自分の内なる世界の深さを探求することに心を開くすべての人と共有することに情熱を注いでいます。

クリスティン・グロスカレ（フランス／フランス語）

指導コーディネーター：ベルナデット・ランボイ
10 年前にベルナデットとジェラール・ランボイによるフォーカシングの研修を受けてから、クリスティンはフォーカシングの学びと実践をやめることはありませんでした。彼女は IFEF 研究所で 3 年間、トレーナーとして、生きるためのアート、すなわち自分自身に耳を傾け気持ちを通して自分の内なるコンパスに従う方法としてフォーカシングを教えています。彼女はフォーカシングは宇宙が彼女に与えた最も美しい出会いだと言います。彼女はジーン・ジェンドリンに応えて、その普及と発信に努めたいと考えています。

マルタ・ファブレガット（アイルランド／スペイン語）

マルタは国際フォーカシング研究所認定フォーカシング・コーディネーター、認定非暴力コミュニケーション・トレーナーで、英国フォーカシング協会のフォーカシング・メンターです。彼女は 20 以上にわたり、ホリスティック・メディエーターと紛争解決実践者として働いています。また、自然の中での瞑想的な修行に打ち込み、ハーブのシャーマニック・ヒーリングの実践家であり、臨床薬学者でもあります。彼女は家族と一緒にアイルランド西部に住み、そこでフォーカシングのトレーニングやリトリートを開催しています。

マテヤ・ヴルンク・トマジン（スロベニア／スロベニア語）

マテヤは夫婦と家族のセラピーを専門としています。認定関係家族療法家、認定フォーカシング・プロフェッショナル、フォーカシング・トレーナー、フォーカシング指向セラピスト、子どもフォーカシング・トレーナー、EMDR 実践家であり、国際ヨガ教師です。マテヤは 19 歳のときにヨガで、自分自身と他者の内なる風景を発見する旅を始めました。彼女は人と接するときに彼女の全ての知識と経験を統合します。彼女はスロベニアに住み、アウトドア派です。

（訳：酒井久実代）

新しく認定されたフォーカシング・プロフェッショナル

Shirley Alves, US
Coordinator: Beth Mahler, supported by Maria Skoufas, CiT

Süle Árpi, Belgium
Coordinator: Mia Leijssen supported by Claude Missiaen and Chris Van de Veire

Guiomar Burgos, Spain
Coordinator: Kay Hoffman supported by Marta Fabregat, CiT

Victor Cabrera Vistoso, Chile
Coordinator: Edgardo Riveros Aedo

Beatriz Delgadillo, Bolivia
Coordinator: Monica Iturraspe

Ram Eisenberg, Israel Coordinator: Dana Ganihar

Carol Fishelman-Rosen, US
Coordinator: Beth Mahler, supported by Maria Skoufas, CiT

Teresa Gonzxåiez, Spain
Coordinator: Kay Hoffman supported by Marta Fabregat, CiT

Dou Jia, China
Coordinator: Chee Seung Chan

Alexandra Johnson, South Africa
Coordinator: Beth Mahler, supported by Maria Skoufas, CiT

Barbara Kazanovich, Israel
Coordinator: Liora Bar Natan

Anne Lawrence, US
Coordinator: Beth Mahler, supported by Maria Skoufas, CiT

Pang Lei, Chine
Coordinator: Chee Seung Chan

Claudia Mastio, Italy
Coordinator: Laura Talamoni

Fiona O'Meara, Ireland
Coordinator: Ann Weiser Cornell

Anj O'Wryly, Australia
Coordinator: Jane Quayle

Leticia Ojea, Argentina
Coordinator: Maria Cristina Collia supported by Josefina A. Castonuovo, CiT

Elisha Reygle, US
Coordinator: Nina Joy Lawrence supported by Laury Rappaport and Sandy Jahmi Burg, CiT

Janet Sahin, US
Coordinator: Charlotte Howorth

Maxine Schmerk, Canada
Coordinator: Lucy Bowers

Lilach Shahar, Israel
Coordinator: Annat Gal-on

Sofia Sundquist, Sweden
Coordinator: Charlotte Howorth

Zeyuan Wei, China
Coordinators: Karen Whalen and Xu Jun

Erin Keller, US
Coordinator: Beth Mahler, supported by Maria Skoufas, CiT

Michelle Krenzelok, US
Coordinator: Beth Mahler, supported by Maria Skoufas, CiT

Dan Xu, China
Coordinator: Chee Seung Chan

熟練フォーカシング・パートナーシップ資格授与 (PFP)

Lourdes Mergado

The International Focusing Institute | 15 N. Mill St., Suite 210, Nyack, NY 10960